

特集 第58回 道本部定期大会

組織強化・拡大を重点課題



全道から541人が参加し、2017年度方針を確立した=9月29～30日、札幌市・ポールスター

新たな政治決戦にむけ 日常活動を強化

組合員の期待に応える

道本部は、9月29日、30日の両日、ホテルポールスター札幌で「第58回定期大会」を開き、全道から541人(うち女性75人13・9%)が参加した。大会では一年間の運動方針と、秋期闘争をはじめとする当面の闘争方針、組織強化・拡大長期計画など10本の議案や、賃金、反原発にかかわる2本の決議と大会宣言案を採択し、大出委員長をはじめ新執行体制を確立した。

2日間の討論で経過2人、方針に30人の発言があり方針が補強された。(2～3面参照)

道本部あいさつ

大出委員長は相次ぐ台風のお見舞を述べ、「甚大な被害を受けた。『災害救援カンパ』の積極的な取り組みを要請する」とし、「『経済闘争』『政治闘争』『組織強化』の3点の運動課題に触れあいさつした。

経済闘争については「安倍政権が進める働き方改革について、本質を見抜く必要がある」とし、社会的な世論喚起にむけた取り組み



執行委員長・大出彰良

を展開していく」と決意を述べた。また、2016年度確定闘争では「組合員の期待に応えるべく人権を最低限としながら労使交渉を強化しなければならぬ」と参加者に呼びかけた。

政治闘争については「安倍政治に終止符を打ち、国民・労働者のための政治を取り戻す。労働運動と政治との関連性を組合員に訴えることを意識した取り組みを強化しよう」と訴えた。

組織強化については「最重点課題と位置付けている『次代の担い手育成』『新規採用者』『非正規労働者』の組織化に加えて、『地方本部の統合・再編』を全体で取り組み道本部組織建設をはかる」と訴えた。

青山環ちゃん、心臓移植手術成功



日高町職元執行委員長である佐々木光由氏のお孫さん「青山環(あおやまたまき)ちゃん(2歳)は、心臓の機能が低下する進行性の難病で「拡張型心筋症」という重い心臓病を患い、渡米して心臓移植手術を受けることが必要な状態でした。

支援カンパ 204万円集約
だが、9月11日、心臓移植手術が成功しました。米国で心臓移植手術を受けるには、3億2千万円の費用が必要にもかかわらず、「たまきちゃんを救う会」が今年2月に結成され、全国6地域での募金活動を展開していただきました。道本部は、日高町職からの要請を受け、「たまきちゃんを救う会」の趣旨に賛同し、支援カンパの取り組みを実施し、53地方本部・単組・総支部(社保労連北海道含む)から、2,039,634円を集約しました。この間の取り組みに心から感謝申し上げます。

JICHIRO スケジュール

10月	
12日(水)	道政への「要求と提言」提出(札幌市)
14日(金)	全国自治研集会(～15日 仙台市)
15日(土)	指定管理者制度に対する取り組み方針確立にむけた学習会(札幌市)
19日(水)	「戦争をさせない」総がかり行動(札幌市)
21日(金)	自治体退職者会北海道本部第33回定期総会(札幌市)

道本部ホームページ
自治労北海道 ユーザー名:minnade
組合員専用ページは パスワード:danketsu2013

賃金確定、現業公企統一闘争スケジュール

- ◇道本部現業・公企総決起集会 10月22日(土)
- ◇地本別現業・公企総決起集会 10月24日(月)～11月14日(月)
- ◇要求書の一斉提出 10月24日(月)
- ◇回答指定日 11月2日(水)
- ◇重点交渉期間 11月4日(金)～16日(水)
- ◇組合旗掲揚 10月24日(月)～闘争終結まで
- ◇腕章着用 11月14日(月)～闘争終結まで
- ◇超勤拒否 11月16日(水)～11月17日(木)
- ◇出張・諸会議拒否 11月17日(木)
- ◇道本部統一行動日 11月17日(木)

1時間を上限とするストライキ戦術を配置

第28回 労文協 講座

2016年度

- 期間 2016年10月～2017年3月
- 時間 18:00～20:00(講演1時間30分他質疑応答)
- 会場 北海道自治労会館(札幌市北区北6条西7丁目) 6回通し券 3,000円・当日受講 700円
- 主催 労文協または自治労会館事務局

～テーマと講師～

1回目	10月19日(水)	プーシキンとブロックの叙事詩を声演するー前編1917年ロシア十月革命連綿 工藤 正廣(北海道大学名誉教授・ロシア文学)
2回目	11月16日(水)	再度の奄美史ー改めて『父の物語』に思う 森山軍治郎(民衆史家)
3回目	12月21日(水)	太宰 治文学の新解釈ー「思い出」を中心にー 神谷 忠孝(北海道大学名誉教授)
4回目	1月18日(水)	戦後派作家と教養 水溜真由美(北海道大学大学院 文学研究科准教授)
5回目	2月22日(水)	ヒトの寿命は延ばせるかー幹細胞と寿命の話 柄内 新(前北海道大学大学院教授)
6回目	3月15日(水)	小樽をめぐるもうひとつの群像ーマイナーな人々に光をあててー 北村 巖(北海道文教大学講師)



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 佐々木直人

年明けの衆議院解散論が広がっている。自民党は一票の格差を是正する新しい選挙区が来月5月に固まる前に実施し単独過半数を狙っている。現時点で解散を強行すれば憲法上大きな問題が生じる。前回衆議院選挙の際の三党合意に

朝風

よる国会議員定数不均衡の抜本的是正は、少なくとも、次の総選挙までに行わなければならない必須の事項だ。何ら抜本的な改正を行うことなく解散し、総選挙を行うのは国民の声を無視することになる。露骨な自己都合解散である。

第58回定期大会特集号

2～3面	・大会質疑討論
4～5面	・写真、機関紙コンクール ・来賓あいさつ
6面	・事前会議・評議会報告
7面	・道人事業委員会報告 ・道消防協40周年記念祝賀会 ・職場だより「日高地方本部」 ・ささきさんの国会だより
8面	・2017年度道本部執行体制

『経過』を大切に組織強化・拡大

経過に対する質疑



佐藤代議員
(夕張市職労)

財政再建にむけ支援を
提供することができた。
再建にむけて第三者委
員会による計画の検証を
行い、抜本的見直しを行
っている。引き続きみな
さんの支援を。

財政破綻から10年が経
過し、これまで多くの仲
間の支援により市民サ
ー

経過質疑に対する答弁



三浦書記長

夕張問題については、
道本部、地本、単組が一
体で取り組んできた。今
後も、処遇改善などの取
り組みや本部と連携して
総務省対策をしていく。
全国野球大会では、石
狩市職労は松江市職に敗
れたものの奮闘した。
来年も野球大会、女子バ
レー大会に参加して、交
流を深めてほしい。



担振代議員
芳賀代議員
(石狩市職労)

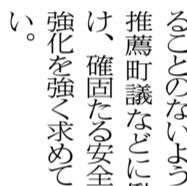
勝へ進出した。全国3位
という成績で選手は自信
となった。職場の組織強
化につながることを期待
している。



結城代議員
(斜里町労連)

男女がともに担う自治
労北海道本部計画策定
で、単組・地本役員を担
う女性が増え、運動は前
進している。仕事・家
庭・組合の両立が大変だ
という声もあがっている。
女性も役員を担いや
すくなるような環境整備
をお願いする。

方針に対する質疑



小森代議員
(厚沢部町職)

役員を担える環境整備を
たつては拙速な同意をす
ることのないよう、連合
推薦町議などに働きか
け、確固たる安全体制の
強化を強く求めていき
たい。



米田代議員
(留萌地本)

昨年10月に公立病院の
統合同編が提案された。
学習会などの対策を進め
てきた結果、病院職員の
組織化や厚沢部国保病院
の再編阻止など成果を得
た。今後も公立病院プラ
ン策定作業の早期着手な
ど対策を進める。道本部
の情報提供を求める。
■再編・統合同編の情報提供を
求める



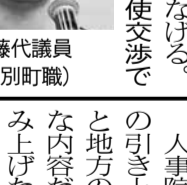
加門代議員
(富良野市労連)

地域との交流の方策と
して自治研活動に取り組
んでいる。自治研活動を
つうじて感じた楽しさや
充実感を、今後の組合活
動・地域活動の一助とな
るよう取り組みを継続す
る。全国自治研で他の事
例から学び、来年以降の
取り組みにつなげる。
■窓口業務委託で不安の声
を解消



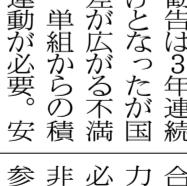
鈴木代議員
(釧根地本)

地方本部の統合同編
は慎重な点検が必要。3
地本で各地本の意見交換
を行い、地方本部の役割
を再確認し、新たな地方
本部像の提言を目標に取
り組む。弟子屈町に働き
かけ、学習会を行うこと
を確認した。組織強化・
拡大を取り組む。
■国保法改正は市町村と
連携



伊藤代議員
(津別町職)

人事評価制度は評価す
る側、される側ともに不
明な部分が多く、モチベ
ーションは上がらず不安
をあおる状況。賃金を削
減する道具にされてはな
らない。納得性、妥当性
が得られる労使交渉が必
要。情勢認識を一致させ
るために機関紙・ホーム
ページの活用が必要。
■交通政策担当者配置を
求める



川本中央執行委員長

人事院勧告は3年連続
の引き上げとなったが国
と地方の差が広がる不
満内容だ。単組からの積
み上げた運動が必要。安
倍内閣の経済政策で景気
回復は実感できない。安
倍政権が憲法の理念に逆
は、財源確保を明言せず
無責任な対応を繰り返し
ているのは問題。連合
は、社会保障・税の一体
改革の推進と人への投資
をはじめとして、暮らし
の底上げの取り組みを進
める。

各評議会報告



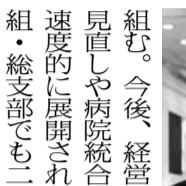
鷺津代議員
(室蘭福祉事業協会労組)

指定管理者制度導入か
ら10年が経過した。大事
なことは発注者側の自治
体労働者と受注側の民間
労働者の「課題の共通理
解」。各自治体単組で「雇
用不安を解消する」組織
討議をお願いしたい。あ
わせて公契約条例制定に
むけた道本部の見解を。
■臨時非常勤等職員連絡会議



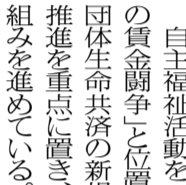
中谷代議員
(くしろ児童厚生員ユニオン)

雇用年限のついている非
正規職員の仲間づくりは
困難をとまなう。正規職
員の支援、協力がなけれ
ば組合加入・組織化は実
現しない。非正規労働者
の問題は、労働者全体の
取り組みとして進めてい
かなければ解決しない。
■衛生医療評議会



佐々木代議員
(函館病労)

組む。今後、経営形態の
見直しや病院統合など加
速的に展開される。単
組・総支部でも二次医療
圏での状況把握など情報
提供を。
■二次医療圏の状況把握を
求める



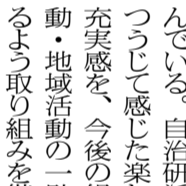
水野代議員
(共和町職)

泊原発の再稼働について、
北電は2017年度
中の再稼働を視野に入れ
ている。「地元同意」にあ
る。



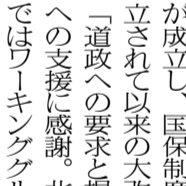
米田代議員
(留萌地本)

参院選は厳しいたたか
いだったが、退職者・O
Bに声をかけることや、
政治学習会を行った。
■道本部再編・統合同編につ
いて



加門代議員
(富良野市労連)

6月議会で窓口業務の
民間委託が提案された。
雇用されているが、民間
委託による解雇、サービ
ス



岡村代議員
(国保連労組)

5月に国保法改正法案
が成立し、国保制度が創
立されて以来の大改革。
「道政への要求と提言」
への支援に感謝。北海道
ではワーキンググループ
を立ち上げるなど市町村
とともに諸問題解決にむ
けて検討をしている。道
本部とともに引き続き取
り組みを進めたい。
■足寄で消防協成の議論
を始める



田村代議員
(札交労)

自治労・都市交が統合
して4年間の経過措置が
終了する。交通政策の浸
透をはかるべく、各地本
に交通政策担当者配置
できる体制の構築が必要
であり、現業公企都市交
評議会「各地本」と一体
となる議論を開始したい。
■非正規の組織化取り組み
を始める



高橋道議会議員

台風被害により甚大な
被害がでた。災害に強い
自治体を求めていく。



田丸代議員
(全道労連渡島支部)

JR北海道の赤字路線
の存廃問題、道内空港の
民営化問題、泊原発の再
稼働、道人事委員会勧告
後の対応など課題は多く
あるが、道本部連携をは
かりながら対応を行って
いく。

職員協議会を結成した。
■非正規問題は労働者全体で
町立中標津病院で嘱託
職員協議会を結成した。

道から北海道地域医療
構想(素案)が出され、
パブリックコメントへの
意見反映を募集してお
り、道本部としても取り
大が懸念される。行政・

法改正により、保育・
介護・福祉職場での労働
環境悪化や生活困窮者の
さらなる格差・貧困の拡
大が懸念される。行政・

泊原発の再稼働につ
いて、北電は2017年度
中の再稼働を視野に入れ
ている。「地元同意」にあ
る。

参院選は厳しいたたか
いだったが、退職者・O
Bに声をかけることや、
政治学習会を行った。
■道本部再編・統合同編につ
いて

6月議会で窓口業務の
民間委託が提案された。
雇用されているが、民間
委託による解雇、サービ
ス

5月に国保法改正法案
が成立し、国保制度が創
立されて以来の大改革。
「道政への要求と提言」
への支援に感謝。北海道
ではワーキンググループ
を立ち上げるなど市町村
とともに諸問題解決にむ
けて検討をしている。道
本部とともに引き続き取
り組みを進めたい。
■足寄で消防協成の議論
を始める

自治労・都市交が統合
して4年間の経過措置が
終了する。交通政策の浸
透をはかるべく、各地本
に交通政策担当者配置
できる体制の構築が必要
であり、現業公企都市交
評議会「各地本」と一体
となる議論を開始したい。
■非正規の組織化取り組み
を始める

台風被害により甚大な
被害がでた。災害に強い
自治体を求めていく。

JR北海道の赤字路線
の存廃問題、道内空港の
民営化問題、泊原発の再
稼働、道人事委員会勧告
後の対応など課題は多く
あるが、道本部連携をは
かりながら対応を行って
いく。

への呼びかけや青年層へ
の働きかけ、政治学習会
で組合における政治闘争
の必要性を確認した。次
の活動につながる組織強
化となった。今の政治状

本部あいさつ



川本中央執行委員長

行していることを広める
ため中央・地方の重層的
な運動が必要。参院選で
組織内「えさき」は18万
票を獲得したが自治労組
合員は81万であり組織的
力量の現状を受け止める
必要がある。新規採用者
非常勤職員組織化、女性
参画の取り組みを強化す
るため、組合員、現場の
声を反映し組織点検・強
化をはかろう。

中央情勢報告



平川特別執行委員

消費増税延期によ
り、社会保障の給付削減
が懸念される。安倍総理
が懸念される。安倍総理
が懸念される。安倍総理

政治フォーラム報告



高橋道議会議員

台風被害により甚大な
被害がでた。災害に強い
自治体を求めていく。



田丸代議員
(全道労連渡島支部)

への呼びかけや青年層へ
の働きかけ、政治学習会
で組合における政治闘争
の必要性を確認した。次
の活動につながる組織強
化となった。今の政治状



評議会などからの発言を含め全体で32本の発言で方針が補強された。賃金確定闘争は、人事院勧告を最低限として単組の課題をどれだけ前進させるかが課題である。政治の道具にさせない

討論のまとめ

大出委員長

めに、国会内外のたたか... 政治闘争について、参院選挙での取り組みでそれぞれ成果・教訓があった。今後のたたかひに必要... 北海道計画について、道本部執行体制も女性が6人となる。これを普通に行きたい。女性参加を意

が重要であり、男女双方が意識しあうことが運動のスタートだ。現在の地方本部体制は活動家の育成と単組強化... 求め心が低下している。待たないの現状である... 強化・拡大の柱に次世代育成を掲げている。学習

が重要であり、男女双方が意識しあうことが運動のスタートだ。現在の地方本部体制は活動家の育成と単組強化... 求め心が低下している。待たないの現状である... 強化・拡大の柱に次世代育成を掲げている。学習

が重要であり、男女双方が意識しあうことが運動のスタートだ。現在の地方本部体制は活動家の育成と単組強化... 求め心が低下している。待たないの現状である... 強化・拡大の柱に次世代育成を掲げている。学習

が重要であり、男女双方が意識しあうことが運動のスタートだ。現在の地方本部体制は活動家の育成と単組強化... 求め心が低下している。待たないの現状である... 強化・拡大の柱に次世代育成を掲げている。学習

が重要であり、男女双方が意識しあうことが運動のスタートだ。現在の地方本部体制は活動家の育成と単組強化... 求め心が低下している。待たないの現状である... 強化・拡大の柱に次世代育成を掲げている。学習

が重要であり、男女双方が意識しあうことが運動のスタートだ。現在の地方本部体制は活動家の育成と単組強化... 求め心が低下している。待たないの現状である... 強化・拡大の柱に次世代育成を掲げている。学習

が重要であり、男女双方が意識しあうことが運動のスタートだ。現在の地方本部体制は活動家の育成と単組強化... 求め心が低下している。待たないの現状である... 強化・拡大の柱に次世代育成を掲げている。学習

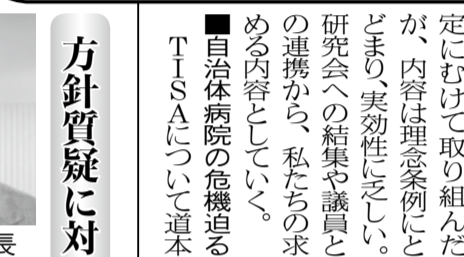
が重要であり、男女双方が意識しあうことが運動のスタートだ。現在の地方本部体制は活動家の育成と単組強化... 求め心が低下している。待たないの現状である... 強化・拡大の柱に次世代育成を掲げている。学習



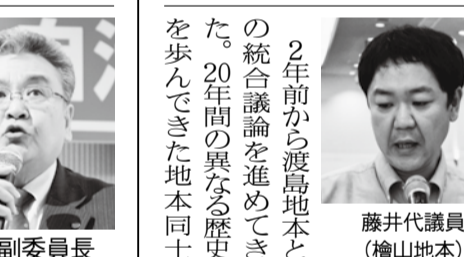
地域住民との連携を深め、社会保障制度の拡充を推進する。福祉職場等で働く多くの非正規労働者の組織化と処遇改善にむけた取り組み強化を。現業公企都市交評議会の



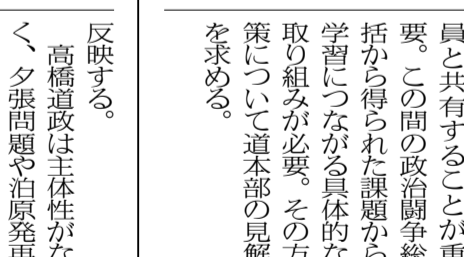
「生活・職場実態変える」女性が集まる場は重要。各世代をつなぎ、情報共有をする場として非常に重要。女性部は一人ひとりが安心して健康で働き続けられる職場環境をつくるため「男女がともに担う自治労北海道第4次計画」を推進するとともに



「女性が集まる場」は、各世代をつなぎ、情報共有をする場として非常に重要。女性部は一人ひとりが安心して健康で働き続けられる職場環境をつくるため「男女がともに担う自治労北海道第4次計画」を推進するとともに



「自治体病院の危機迫る」自治体病院では地域経済への貢献をはじめ参加チームの協力を感謝。旭川フーキンクラブ研究会を立ち上げ公契約条例の制定にむけて取り組んだが、内容は理念条例にとどまり、実効性に乏しい。研究会への結果や議員との連携から、私たちの求める内容としていく。



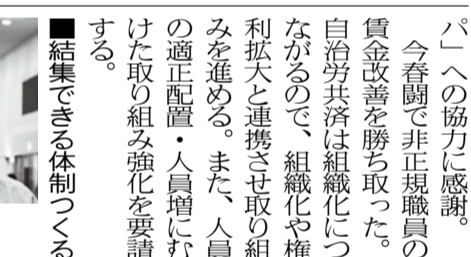
「結果できる体制づくり」2年前から渡島地本との統合議論を進めてきた。20年間の異なる歴史を歩んできた地本同士が、統合することは多くが、統合することは多くの困難があるが、それぞれの地方本部に各単組が結果できる体制を構築する必要がある。



「青年部」生活・職場実態変える。直営の維持・民間委託後の検証の必要がある。公共サービスを安定的に提供できる職場体制の構築にむけ、真の地方自治を確立するため、先頭に立つてたかろう。



「高橋道政に対する見解を」道高橋道政は、地域医療構想のなかで縮小再編が求められ厳しい現状にあり、自治体病院として危機が迫っている。道本部の見解を伺いたい。



「政治闘争の意義を共有」組合活動の取り組み強化・活性化と並行し政策実現をめざすために、政治闘争の意義、など組合員と共有することが重要。この間の政治闘争総括から得られた課題から学習につながる具体的な取り組みが必要。その方策について道本部の見解を求める。



「男女がともに運動担う」人事評価制度結果の活用は賃金労働条件に大きな影響を与える。人材育成・交渉サイクルの確立に取り組みなければ役場自体が立ちいかなくなる。人員が不足するなかで男女がともに運動を担っているよう学習活動にも努めてほしい。



あり、道北協議会で議論してきたが、事態を把握しきれないことが明らかになった。デメリットだけでなく、組織強化がどうはかれるかに視点を置き議論を進める。

「環境ちゃんカンパ」で小さな命が救われた。この間の取り組みに感謝。地本の再編・統合について、枠組みにとらわれず、組織強化を展望し、柔軟な姿勢で活発な議論をお願したい。

2016 機関紙・第49回写真コンクール 審査発表



貴重な機会をとらえた写真多い

9月18日、札幌市・道本館内特別応接室で「第49回写真コンクール」の審査を行った。今年の写真コンクールには、19作品の応募があった。審査は、「北海道炭炭産写真コンテスト」の審査員でもある、写真家のKEN五島さんにお願いし、送られてきた作品を審査したうえで講評をいただいた。

五島さんは、「平和への思いが伝わる写真が多かった。ピントや構図が甘くても、貴重な機会をとらえている素晴らしい作品が多かった」と講評した。



優秀賞(2点)

「札幌交」札幌市交通労組



最優秀賞(1点)

「江別市職労」江別市職労



佳作(2点)

「いちひの職場から」北海道新聞社
「ニュース」帯広市労連



特別賞(1点)

「さっぽろ非常勤ニュース」全道庁労連札幌総支部
(一般職臨時非常勤連絡会議)

「団結ニュース」帯広市労連



「全道庁あばしり」
全道庁労連網走総支部

顧問 高柳 順司

役員になって以降お世話になり感謝している。話にならない。一つを証明すればいい。できる、と言っよう。

「暁雲」 札幌医大労組

池田まき 民進党北海道第5区総支部代表

5区補選では敗れてしまったが、皆さんのおかげで多くの支援をいただいた。地域・地方自治を守るため、みなさんと一緒に引き続き活動していきます。市民運動を社会運動につなげていけるよう頑張ります。

「団結ニュース」 帯広市労連

えさきたかし 参議院議員

再選は道本部の皆さんの力のたまもの。私の仕事は皆さんの職場・地域を守ることにあります。解散総選挙は空事ではない。支援を要請する。

「光」 函館市職労(家族)

窪田 七重さん

災害により、自治体の現場、住民が大変な思いをしている。政府は合理化を推進しようとしている。公共サービスを守るためにしっかりと対峙していきたい。

「ふたりの平和」 全道庁労連札幌総支部

今野 徹さん

結成40周年を迎える。この間の自治労のみならず、皆さんの協力を感謝する。台風などの災害対応を自治体職員と連携し進める。安倍政権を阻止し自分たちの声を出せる組織とするため、組織拡大、職場改善をはかる。

「明日へ」 社保労連北海道地本

佐々木千晴さん

安倍政権が進めようとしている働き方改革は、相は、憲法9条の改憲を議論しているが、国民は反対している。自民党の改憲草案では、個人より国家・家族が優先されている。戦争法廃止にむけて、戦争法廃止にむけて運動を引き続き強化する。格差を拡大させるアベノミクスを一日も早く止めるため、年明けに予想される解散総選挙が大切なたたかいとなる。みなさんの結果をお願いします。

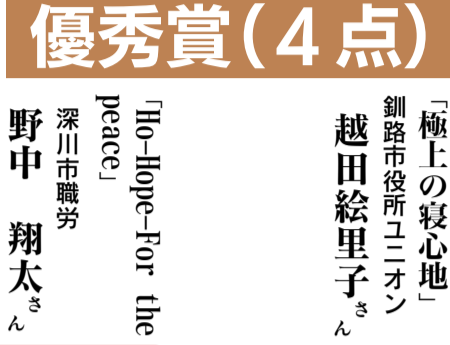


優秀賞(4点)

「Ho-Hope For the peace」
深川市職労
野中 翔太さん

【作品にかかわるエピソード】
自分たちの結婚式の翌日、親戚一同訪れた動物園にて。夜には『ホーホー』と鳴いているであろうフクロウの星の姿。3羽仲良く目を閉じ、何かを祈るような睦ましい姿を収めた一枚。似たような顔の自分たちを彼らに重ね、こんな平和な時間がずっと続けばいいなと感じた瞬間。

【講評】
写真を理解して撮られている。左端の寝ているフクロウにピントを合わせて、それをぼかし浮かび上がらせている。それによって立体感がより増している。野生動物が、人が近くにいる大人しく寝ている平和な時間を人も動物も持てるということに感謝するという写真。



優秀賞(4点)

「極上の寝心地」
釧路市役所ユニオン
越田 絵里子さん

【作品にかかわるエピソード】
お店でたった一羽羽が残っていたインコの雛を買いました。カゴを用意するまでの間、ウズラの飼育ケージに入れたのですが親と思つたらしく、擦り寄っていきウズラの上で眠ってしまった。きっとお店での不安が解消されて安眠できたのだと思う。そんな一コマです。

【講評】
写真はどんな機会を捉えるかで、記録的な写真ではあるが雛の寝顔が非常にかわいいうということ、人が近づいても警戒せず寝ており殺伐とした時代ではこうはならない。平和な雰囲気良く出ている写真。



佳作(2点)

「いつまでも平和に笑顔で仲良く」
函館市職労
長谷川 義樹さん

【作品にかかわるエピソード】
4歳の兄と1歳になったばかりの妹、娘が初めて外を人歩き、つまずいて転んだ所を息子に助けられた後、二人で笑顔の対面。

【講評】
家族で楽しく旅行をして、兄妹そろって遊んでいる。そんな平和な時間がいつまでも続くといいなという気持ちを感じる写真。



佳作(2点)

「虹の下で」
札幌市職連
前本 博之さん

【作品にかかわるエピソード】
息子とこの綺麗な虹を見ることができ、平和だなと感じました。

【講評】
構図に安定感があり、噴水の躍動感とそこに現れた虹の色彩の豊かさが写真を際立たせている。子どもと一緒に来て平和な時間を過ごすことができる。そこに平和の象徴である虹が出ているということで説得力のある写真。



最優秀賞(1点)

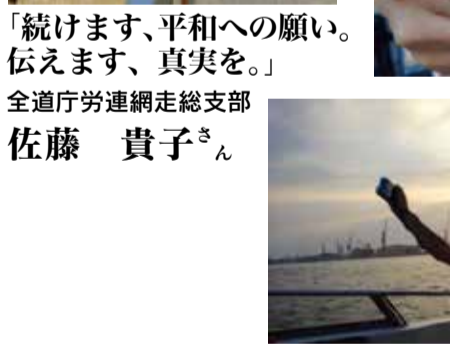
「だいすきなひとへ」
札幌病職労
大西 夏木さん

【作品にかかわるエピソード】
ひらがなも、ままならないのですがお友達や祖父母や私たちに書いてくれます。

【講評】
小さな女の子が文字を書いたり色々考えたりできる、平和な雰囲気良く出ている写真である。手のひらにピントが合っているが、目にピントが来ていて下の方がトリミングできていれば写真的には完璧な作品となる。背景のぼけ方がすごくよくできていて、女の子の存在感を引き立てている。



「また地方の」
「無題」
札幌医大労組
佐々木 綾子さん



「明日へ」
社保労連北海道地本
佐々木 千晴さん



「平和への導き」
石狩市職労
吉田 学さん



「変わらない」
恵庭市職労
水野 光代さん

「いやし賞(10点)」

「幸せな日常風景」
恵庭市職労
水野 光代さん

「来賓あいさつ」

誰のための働き方改革なのか。「働かせ方改革」にはいけない。現在、残業代ゼロ法案が議論されようとしているが、命と健康を守るため、たまたかかっていく必要がある。

相は、憲法9条の改憲を議論しているが、国民は反対している。自民党の改憲草案では、個人より国家・家族が優先されている。戦争法廃止にむけて、戦争法廃止にむけて運動を引き続き強化する。格差を拡大させるアベノミクスを一日も早く止めるため、年明けに予想される解散総選挙が大切なたたかいとなる。みなさんの結果をお願いします。

参議院選挙では、改憲勢力である3分の2議席を許すこととなった。格差を拡大させるアベノミクスを一日も早く止めるため、年明けに予想される解散総選挙が大切なたたかいとなる。みなさんの結果をお願いします。

参議院選挙では、改憲勢力である3分の2議席を許すこととなった。格差を拡大させるアベノミクスを一日も早く止めるため、年明けに予想される解散総選挙が大切なたたかいとなる。みなさんの結果をお願いします。

参議院選挙では、改憲勢力である3分の2議席を許すこととなった。格差を拡大させるアベノミクスを一日も早く止めるため、年明けに予想される解散総選挙が大切なたたかいとなる。みなさんの結果をお願いします。

参議院選挙では、改憲勢力である3分の2議席を許すこととなった。格差を拡大させるアベノミクスを一日も早く止めるため、年明けに予想される解散総選挙が大切なたたかいとなる。みなさんの結果をお願いします。

参議院選挙では、改憲勢力である3分の2議席を許すこととなった。格差を拡大させるアベノミクスを一日も早く止めるため、年明けに予想される解散総選挙が大切なたたかいとなる。みなさんの結果をお願いします。

2017道本部大会 事前会議・各評議会報告

現業公企都市交評議会

2016現業公企闘争に全力をあげる

現業職場では政府が推し進めようとする「公共サービスの産業化」による「公共サービスの産業化」による事業が増加しており、財政健全化の理由に民間委託、民間委託などが進められている。こうした攻撃通職場では地方公営企業会計制度の



見直しにより、全国で赤字決算となる「2016現業公企統一闘争」を全力で取り組むとともに、質の高い公共サービスの実現にむけ地域・職場から取り組みを強化する。

〔役員体制〕

議長 大西 誠 (苫小牧市職労)

事務局長 中村 秀人 (網走市職連)

※他の役員は第一回幹事会までに選出

社会福祉評議会

安心・安全のまちづくりの実現

社会福祉関係では、国の経済財政対策の中で見直しが行われ、少子高齢化、地域格差の拡大も背景に大きな変革が起きようとしている。安心・安全に住み続けられるまちづくりの実現にむけ、社会保障サービスの充実に必要な制度改革、財源確保の取り組みを進め、地域住民のニーズに見合う保健・福祉・医療・介護の提供をすすめる。



〔役員体制〕
議長 種谷 文秀 (函館市職労)
副議長 (福祉事務所対策委員会から選出)
〔保育部会から選出〕
〔介護部会から選出〕
〔障労連から選出〕
事務局長 神成 和江 (全道庁労連渡島給支部)
特別幹事 相内 利幸 (札幌市職連)
瀬戸 典仁 (全道庁労連日高給支部)

女性部

誰もが安心して健康で働き続けられる職場づくり

組合員臨時・非常勤等職員など、自治体で働く女性たちが集まり、議論するなかで課題を整理し、独自の学習・交流をおこなって情報の共有、人材育成に取り組み、基本組織の機関会議などに積極的に参加し、女性の課題を意見反映する。



〔役員体制〕
部長 土田 美登里 (北見市職連)
副部長 大浦 三奈 (足寄町職労)
選出中 (足寄町職労)
書記長 齋藤 満希 (江別市職労)
書記次長 太田 美帆 (中標津町職連)

青年部

「仲間の声、職場の事実」にこだわる

「学習・交流・実践」を運動の柱に、厳しい生活・職場実態でも、仲間とていねいに関わること、要求を、さらなる組織強化につなげていく。の前進や仲間の成長を勝ち取っていく。



〔役員体制〕
部長 斎藤 信 (苫小牧市職労)
副部長 高橋 弘樹 (名寄市職労)
副部長 本田 卓也 (平取町職労)
書記長 村居 保裕 (全道庁労連空知総支部)

衛生医療評議会

地域医療を守る視点で取り組む

医療を含めた社会保障制度改革が進むなか、あらためて地域医療の重要性が求められており、看護師をはじめとする病院職場で働く者の離職防止や労働条件の改善、そして職場



〔役員体制〕
議長 佐々木 淳 (函館病労)
副議長 居橋 真人 (札幌病労)
後藤 並字 (中標津町職連)
副議長 選出中
選出中
事務局長 選出中
事務局次長 真壁 英治 (全道庁労連)

公共サービス民間労組協議会

要求・交渉・労働契約の締結めざす

委託等関連職場労働者の賃金・労働条件向上にむけ、委託内容、委託費などについてチェックを自治体単組と連携して取り組む。あわせて、指定管理者制度は、雇用不安や、賃金への影響が大きく制度上の問題点もあり、制度廃止も視野に入れ、取



〔役員体制〕
議長 齋藤 克之 (室蘭福祉事業協会職員労組)
副議長 石田トモ子 (北海道福祉ユニオン)
松原 圭他 (南部檜山衛生処理労組)
三上たみ子 (松前みでん社員組合)
川端 政宏 (全北海道指定自動車学校労組協議会)
薄野澤慎也 (室蘭福祉事業協会職員労組)
事務局長 千葉 雄太 (東神楽町社会福祉協議会職員組合)

消防職員協議会

団結権を見据え組織強化・拡大

消防職員の団結権回復と賃金・労働条件の改善、労働安全衛生の確立などの課題に取り組み、組織強化・拡大に総力をあげて取り組む。



〔役員体制〕
会長 菅原 宏仙 (釧路東部消防協)
副会長 沼田健太郎 (函館消防協)
高橋 博 (砂川消防協)
事務局長 齊藤 学 (白老消防協)
事務局次長 小西 康博 (上別消防協)
降旗 光太 (恵庭消防協)

臨時・非常勤等職員連絡会議

自らの問題解決に自らの力で取り組もう

正規職員との「均等待遇」を基本とした「同一価値労働・同一賃金」を求め、取り組みを行っているが、年収200万円以下の官製ワーキングプア状態であり「均等待遇」には程遠い状況にある。



〔役員体制〕
議長 増田 光子 (札幌病労)
副議長 佐藤るみ子 (札幌病労)
中谷 公子 (くしろ児童厚生員ユニオン)
事務局長 松本 敦子 (札幌市職連)

委 員 会 告 白 道 人 事 委 員 会

引き上げ改定の早期実施 年内差額支給を求め

北海道人事委員会は10月7日、知事・道議会議長に対し2016北海道人事委員会勧告を行った。月例給のプラス較差(672円)に基づき、

人事院勧告に準じた給料表の引き上げ、総合的見直しにともなう現給保障措置により解消されない較差解消のため子に係る扶養手当を2016年4

月に遡及し4000円引き上げること、国や道内他市町村と0・1月の格差があった一時金については0・2月(年間支給月数4・3月)引き上げる勧告内容となり、国等の支給月数と並んだ。本年人勤期の大きな課題であった扶養手当については配偶者の引き下げと

子の引き上げが勧告された。地公三者共闘会議は、

勧告を受け、知事・教育長・道議会議正副議長・道議会各会派への要請行動を行い、引き上げ改定の早期実施・年内差額支給を求めるとともに、引き下げとなる配偶者に係る扶養手当の拙速な見直しは行わないよう強く申し入れた。



三井道議会議副議長に要請書を手渡す地公三者=10月7日、札幌市

- 【今年の給与勧告のポイント】**
- ＜2016年度の改定分＞
 - 給料表、一時金ともに3年連続の引上げ
 - 子に係る扶養手当の引上げ(400円)
 - ＜2017年度からの改定分＞
 - 扶養手当について、配偶者に係る手当額の引下げ、子に係る手当額の引上げ

市ホテルポルスタ1札幌で北海道消防職員協議会結成40周年記念祝賀会が開かれ223人が参加した。



10月5日、札幌市ホテルポルスタ1札幌で北海道消防職員協議会結成40周年記念祝賀会が開かれ223人が参加した。

祝賀会で菅原・道消防協会長は、「1977年9月に4単協443人で協議会を結成し、消防職員の環境を『民主的であるべく風通しのよい職場に』との思いでスタートした。現在は58単協2,438人まで拡大し、消防職員が抱える様々な課題に取り組んでいる。住民の安心と安全を守るという重要かつ困難な職務を遂行するにあたり、労働条件改善が必要である。そのためには団結権を回復することが喫緊の課題である。これまで政府は再三のILO勧告にも拘らず、消防職員の団結権を認めていなかったが、民主党政権下では着実に回復への道を進んだ。安倍政権の元で途切れている。引き続き自治労と連携し団結権回復にむけてたたかいて進める。また、消防の広域化に伴う消防職員の賃金・労働条件の統一など多くの課題がある。自治体単組との連携を強め取り組を進める」と決意を述べた。

自然災害への備え再認識

【日高地方本部発】

新冠町職は8月26日、2016「自治労共済学習会」を新冠町レ・コールド館で開き、組合員38人が参加した。

学習会では、自治労共済北海道支部及び全労済道央支店より、マイカー共済・住まいる共済に関する内容の説明があり、

「自治労組合員」であるからこそ加入できる共済制度及び保障内容について学んだ。

参加した組合員からは、「今の加入している保険と共済の比較をしてみよう」「車購入する前に見積りをお願いしよう」などの声も数多くあった。また、8月23日から北

海道へ上陸した台風9号の襲来により、日高地方においても多数の被害が発生したことから、自然災害への備えとして、共済制度の必要性を再認識することとなった。

新冠町職は、2003年に自治労加盟と、日高地方本部のなかでも、一番遅くに自治労加盟した経

過もあり、今年7月から「団体生命共済」への新規加入の取り組みもスタートし、組合員に共済制度も少しずつ浸透している。

今後においても、共済学習会や個別相談等を行い、積極的な共済推進活動の取り組みを



職場だより

は、「団体生命共済」への新規加入の取り組みもスタートし、組合員に共済制度も少しずつ浸透している。

は、「団体生命共済」への新規加入の取り組みもスタートし、組合員に共済制度も少しずつ浸透している。



台風により、日高地方にも多数の被害があった

組合員の皆さんの協力を 台風10号等 災害救援カンパを実施

カンパ金額
任意
([目標]組合員1人500円)
集約日
10月14日(第一次)
10月31日(第二次)

道本部は、被害にあった関係自治体および単組等への見舞金、災害復旧にあたっての仲間への支援と激励などを目的に「災害救援カンパ」を取り組んでいます。組合員の皆さんの積極的な協力をお願いします。



道本部第58回定期大会が終了し、既に2017年度がスタートしている。賃金確定闘争、現業公企統一闘争は11月17日を統一行動日として、一時間を上限とするストライキ戦術を配置し要求実現にむけたたかいを進めていくこととなる。そこで大切なのが組合員との往復活動である。要求のとりまとめから妥結まで、組合員の声をしっかりと集約し取り組を進めることで要求の実現ははかれるもの

忙中余話

道本部第58回定期大会が終了し、既に2017年度がスタートしている。賃金確定闘争、現業公企統一闘争は11月17日を統一行動日として、一時間を上限とするストライキ戦術を配置し要求実現にむけたたかいを進めていくこととなる。そこで大切なのが組合員との往復活動である。要求のとりまとめから妥結まで、組合員の声をしっかりと集約し取り組を進めることで要求の実現ははかれるもの

(佐々木直人)

ささきさんの国会だより⑫ 地方組織があつてこそ



北海道を襲った台風は道路の決壊・崖崩れをはじめ河川の氾濫、農地の土砂流入と流失、住宅・公共施設の床板浸水など多大な被害をもたらした。民進党は台風等災害対策本部を設置し、(私は副本部長)復旧について早急に取り組んでいる。検討を要する課題は、中小の工場・商店街のグループ補助金の摘要、ホロン

ZENROSAI NEWS 51169142

全労済の住まいる共済

あなたの住まいる保障

火事、地震、風水害、豪雨

火事、地震、風水害、豪雨、台風

新自然災害共済 大型タイプ

火災のときの保障があっても、風水害や地震の保障があるとは限りません。加入している保険や共済に風水害や地震の保障があるかを点検してみましょう。

新自然災害共済は、新火災共済に付帯してご利用いただく共済です。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをすすめています。出資金をお支払いいただいている組合員にすれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済 全労済共済生活協同組合 全労済共済生活協同組合 全労済共済生活協同組合

組織強化・拡大にむけ全力でがんばります!



2017年度道本部執行体制

組織部長
(現業公営市交評場、都市連担当)



中村 秀人
(網走市労連)

組織部長
※2017・4・1配置



檉野久美子
(平取町職労)

組織部長



瀬上 英克
(全道庁労連)

賃金労働部長(厚生対策担当)



三浦 亨
(北見市労連)

組織労働局

**副執行委員長
組織労働局長**



和田 英浩
(砂川市労連)

**副執行委員長
総合政策局長**



難波 優
(富良野市労連)

執行委員長



大出 彰良
(名寄市職労)

4役(企画会議)

組織部次長(書記)
(組織、現業公営都市交評担当)



大島 進

賃金労働部次長(書記)



河井 勝

**臨時執行委員
(臨時非常勤等組織拡大担当)**



松本 敦子
(札幌市職連)

臨時執行委員
※2017・3・31まで



兼村 憲三
(洞爺湖町労連)

**特別執行委員(全労済派遣
全労済自治労共済本部北海
道支部事務局長)**



木村美智留
(全道庁労連)

財務局長



山木 紀彦
(遠軽町労連)

**書記長
企画総務局長**



三浦 和枝
(全道庁労連)

**事務局長
退職者会**



今岡 忠男
(全道庁)

事務局長
瀬上 英克



吉田 雅人

**事務局長次長
(組織拡大オルク本部書記)**



松岡 敏裕
(石狩市職労)

次長(組織拡大専門員)
室長(組織労働局長兼務)
和田 英浩

組織強化・拡大推進室

組織部次長(書記)



中村 真友

女性部長



土田美登里
(北見市労連)

教育情宣部長



森下 元
(八雲町職労)

企画総務局

**公共サービス政策部長
(道民運動担当)**



森田 寛之
(札幌市労)

**自治体政策部長
(社福評担当)**



神成 和江
(全道庁労連)

政治部長



佐古岡秀徳
(京極町職労)

総合政策局

**企画総務部次長(書記)
(青年部担当)**



岡 かおり

企画総務部次長(書記)
(企画総務、自主福祉活動担当)



高田 将平
(全道庁労連)

**臨時執行委員
(自主福祉活動衛生医療評担当)**



真壁 英治
(全道庁労連)

青年部長



斉藤 信
(苫小牧市職労)

**公共サービス政策部次長
(書記)(道民運動担当)**



渡部 裕幸

**自治体政策部次長(書記)
(社福評、衛生医療評担当)**



根本 圭

政治部次長(書記)



引地 圭太

**自治労北海道学校学監
(顧問)**



峰崎 直樹

**事務職員
(企画総務局担当)**



高久保雅子

**再雇用書記
(連合北海道派遣)**



小桧山秀昭

**企画総務部次長(書記)
(教育情宣部、女性部担当)**



高山 智子
(※2016.11.1採用)

研究員(嘱託職員)




舟橋 圭子

事務局長
難波 優



酒井 康弘
(全道庁労連)

**〈総合〉
〈研究室〉
総合研究室長**



河端 孝司

連合北海道派遣
藤田 安弘(全道庁労連)
背戸田 巧(岩見沢市職)
柿崎 克之(遠別町職)

監査委員

事務職員



海老名美加

会計部長



谷川 広美
(直屬支部)

財政局

今大会で退任した役員

本大会で5人が退任しました。これまでの奮闘に感謝申し上げます。お疲れ様でした。なお、兼村さんは2017年3月まで道本部臨時執行委員として任務に就きます。

自治体政策部長
瀬戸典仁さん

公共サービス政策部長
兼村憲三さん

女性部長
上島早苗さん

監査委員
松本洋さん

監査委員
兵庫谷友美さん

政治部長
竹中慶吉さん

お疲れ様でした

- 顧問**
- 中澤 健次(夕張市職労)
 - 元衆議院議員
 - 金田 誠一(函館市職労)
 - 元衆議院議員
 - 峰崎 直樹(全道庁労連)
 - 元参議院議員
 - 仲野 博子(全道庁労連)
 - 元衆議院議員
 - 後藤 森重(置戸町職労)
 - 元自治労本部中央執行委員長
 - 大原 義行(全道庁労連)
 - 元自治労本部中央執行委員長
 - 金田 文夫(函館市職労)
 - 元自治労本部書記長
 - 北村 英人(全道庁労連)
 - 元道本部執行委員長
 - 森 朗(全道庁労連)
 - 元道本部執行委員長
 - 三輪 修彰(旭川市職労)
 - 元道本部執行委員長
 - 富山 隆(全道庁労連)
 - 元道本部執行委員長
 - 大場 博之(札幌市職連)
 - 元道本部執行委員長
 - 三浦 正道(札幌市職連)
 - 元道本部執行委員長
 - 高柳 薫(遠軽町労連)
 - 元道本部執行委員長
 - 田川 靖一(遠軽町労連)
 - 元自治労共済専務理事
 - 林 亮一(上士幌町職)
 - 元自治労共済専務理事
- 特別執行委員**
- 川本 淳(中川町職労)
 - 自治労本部中央執行委員長
 - 石上 千博(富良野市労連)
 - 自治労本部中央執行委員
 - 岸真 紀子(岩見沢市職)
 - 自治労本部中央執行委員
 - 組織対策局長
 - 駒井 由美(全道庁労連)
 - 自治労本部中央執行委員
 - 社会保障局長
 - 佐藤 良太(全道庁労連)
 - 自治労本部中央執行委員
 - 青年部長
 - 三浦 正一(斜里町労連)
 - 自治労本部特別中央執行委員
 - 平川 則男(全道庁労連)
 - 自治労本部特別中央執行委員
 - 連合本部総合政策局長
- 友利 一男(網走市労連)**
元自治労本部書記次長・全労済職域事業本部専務執行役員
- 佐藤 富夫(全道庁労連)**
元連合北海道事務局長
- 古川 隆之(深川市職労)**
元全道労協センター事務局長
- 大門 正彦(全道庁労連)**
自治労本部特別中央執行委員
- (社)生活経済政策研究所**
専務理事・事務局長
- 芳賀 直行(社保労連)**
自治労社会保険関係労働組合連合会中央執行委員長
- 木村美智留(全道庁労連)**
全労済自治労共済本部北海道支部事務局長
- 出村 良平(全道庁労連)**
連合北海道会長
- 藤盛 敏弘(函館市職労)**
連合北海道特別執行委員
- 政治センター幹事長**
永田 重人(全道庁労連)

連合北海道執行委員
組織対策局長

佐藤 環樹(札幌市職連)
北海道平和運動フォーラム事務局長

杉谷 光一(留萌市労連)
公益社団法人北海道地方自治研究所常務理事

山上 潔(全道庁労連)
全労済北海道本部

馬場 修(全道庁労連)
北海道労働委員会委員

逢坂 誠二(函館市職労)
参議院議員

相原久美子(札幌市職連)
参議院議員